

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場会社名 帝国通信工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6763 URL http://www.noble-j.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一柳 和夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 I R・経理管掌 (氏名) 小田切 純夫 (TEL) 044-422-3831  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	7,141	12.7	320	25.3	458	△23.4	247	△53.1
27年3月期第2四半期	6,337	△1.0	255	—	599	120.6	527	18.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 30百万円(△93.3%) 27年3月期第2四半期 462百万円(△55.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第2四半期	5	05	5	05
27年3月期第2四半期	10	78	10	76

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	24,701	—	20,543	—	81.4	—
27年3月期	25,347	—	20,720	—	79.9	—

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 20,108百万円 27年3月期 20,241百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	2.50	—	3.50	6.00
28年3月期	—	3.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	14,500	△0.2	600	△15.0	800	△49.5	600	△47.5	12	26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	50,709,167株	27年3月期	50,709,167株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,717,348株	27年3月期	1,778,940株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	48,936,369株	27年3月期2Q	48,881,052株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現在入手可能な情報及び合理的に判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12
製品別販売実績	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、中国経済の減速が鮮明になったことで先進国への影響がより一層懸念される状況となりました。日本経済もその影響を受けた企業が多く景気回復とは言い切れない状況にあります。

当社の属するエレクトロニクス業界は、米国では市場の回復が見られるものの、中国経済減速の影響を受けてテレビ・家電及びスマートフォンが落ち込みました。自動車電装も中国向けが減少しましたが、好調な北米向けに支えられました。

このような状況の中で当社グループは、引き続き海外製造会社における生産の効率化とコストダウンに努め、販売面においては新市場の開拓と拡大に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高が71億41百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益は3億20百万円（前年同期比25.3%増）、経常利益は4億58百万円（前年同期比23.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億47百万円（前年同期比53.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①電子部品

前面操作ブロック（ICB）製品は、自動車電装やヘルスケア向けが好調でした。可変抵抗器は、ミキサーなどプロオーディオ向けが、固定抵抗器はエアコンや給湯器向けが好調でした。また、クリスマス商戦に向けてゲーム機向けシートが大きく伸びました。

この結果、電子部品の売上高は70億73百万円（前年同期比13.2%増）となり、営業利益は3億88百万円（前年同期比35.8%増）となりました。

当事業の地域別の業績は次のとおりであります。

#### a. 日本

ヘルスケア向けが好調でしたが、デジタル家電向けは総じて低調でした。

この結果、売上高は26億5百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益は69百万円（前年同期比44.6%減）となりました。

#### b. アジア

中国経済減速の影響はありましたが、自動車電装向け、プロオーディオ向け、エアコン向け、給湯器向け、ゲーム機向けなど好調でした。

この結果、売上高は42億55百万円（前年同期比23.5%増）、営業利益は3億36百万円（前年同期比145.7%増）となりました。

#### c. 北米

薄型テレビ向けや自動車電装向けが回復しました。

この結果、売上高は2億13百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は12百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

#### ②その他

機械設備の製造販売は、低迷が続く中で新たな市場開拓に努めてまいりました。

この結果、売上高は68百万円（前年同期比25.1%減）、営業損失は70百万円（前年同期は36百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産が前連結会計年度末に比べ6億45百万円減少し247億1百万円となりました。その内訳は、流動資産が2億55百万円減少し156億97百万円、固定資産が3億90百万円減少し90億3百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ4億68百万円減少し41億58百万円となりました。その内訳は、流動負債が8億25百万円減少し26億17百万円、固定負債が3億57百万円増加し15億40百万円となりました。

これらの結果、純資産は前連結会計年度末に比べ1億77百万円減少し205億43百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の79.9%から81.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は2億38百万円(前年同期は2億9百万円の使用)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益5億21百万円(前年同期は6億68百万円)、減価償却費3億71百万円(前年同期は3億51百万円)、売上債権が2億75百万円減少(前年同期は14百万円の増加)したことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億73百万円(前年同期は1億46百万円の使用)となりました。これは余資運用として定期預金の払戻による収入8億99百万円(前年同期は5億41百万円)に対し定期預金の預入による支出11億48百万円(前年同期は8億60百万円)を行ったこと、設備等有形固定資産の取得による支出1億54百万円(前年同期は2億22百万円)、遊休不動産の売却による収入1億61百万円(前年同期は2億12百万円)などによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億11百万円(前年同期は2億76百万円の使用)となりました。これは配当金の支払い1億70百万円(前年同期は2億19百万円)などによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

引き続き先行きが不透明な経済状況が予想されますが、平成28年3月期の業績予想に関しては、平成27年5月15日に公表いたしました見通しに変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額  
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い  
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定  
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方  
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更  
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、  
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会  
社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載  
し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売  
却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方  
法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及  
び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時  
点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,423,932	9,264,564
受取手形及び売掛金	3,373,628	3,027,613
電子記録債権	349,322	417,536
有価証券	100,030	—
商品及び製品	1,190,249	1,288,654
仕掛品	434,573	470,815
原材料及び貯蔵品	755,614	740,710
その他	331,358	490,246
貸倒引当金	△5,377	△2,411
流動資産合計	15,953,332	15,697,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,154,239	2,009,508
機械装置及び運搬具（純額）	1,555,951	1,446,747
その他（純額）	931,687	871,735
有形固定資産合計	4,641,879	4,327,991
無形固定資産	161,998	163,967
投資その他の資産		
投資有価証券	1,938,120	1,852,911
その他	2,656,969	2,740,216
貸倒引当金	△5,166	△81,657
投資その他の資産合計	4,589,923	4,511,470
固定資産合計	9,393,801	9,003,429
資産合計	25,347,134	24,701,160
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	805,768	689,012
電子記録債務	432,168	495,857
短期借入金	215,460	109,674
未払法人税等	111,064	70,516
賞与引当金	302,204	324,921
役員賞与引当金	10,000	—
事業構造改善引当金	308,911	119,710
その他	1,257,689	808,002
流動負債合計	3,443,266	2,617,695
固定負債		
退職給付に係る負債	294,990	283,806
その他	888,255	1,256,507
固定負債合計	1,183,246	1,540,314
負債合計	4,626,512	4,158,009

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,453,078	3,453,078
資本剰余金	5,456,313	5,456,313
利益剰余金	11,069,793	11,123,306
自己株式	△883,600	△851,323
株主資本合計	19,095,585	19,181,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	609,557	559,925
為替換算調整勘定	23,473	△39,021
退職給付に係る調整累計額	513,113	406,677
その他の包括利益累計額合計	1,146,145	927,582
新株予約権	8,364	3,244
非支配株主持分	470,527	430,949
純資産合計	20,720,622	20,543,151
負債純資産合計	25,347,134	24,701,160



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	6,337,613	7,141,416
売上原価	4,254,129	4,823,474
売上総利益	2,083,484	2,317,941
販売費及び一般管理費	1,827,640	1,997,438
営業利益	255,843	320,503
営業外収益		
受取利息	17,122	18,939
受取配当金	54,183	25,661
受取賃貸料	50,348	49,792
為替差益	219,021	58,559
その他	37,505	30,044
営業外収益合計	378,181	182,996
営業外費用		
支払利息	679	868
投資有価証券評価損	—	8,131
固定資産賃貸費用	21,650	18,353
外国源泉税	7,237	12,881
その他	5,305	4,421
営業外費用合計	34,873	44,656
経常利益	599,151	458,843
特別利益		
固定資産売却益	177,639	62,611
特別利益合計	177,639	62,611
特別損失		
事業構造改善引当金繰入額	107,981	—
特別損失合計	107,981	—
税金等調整前四半期純利益	668,809	521,455
法人税等	121,962	243,904
四半期純利益	546,847	277,550
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,677	30,273
親会社株主に帰属する四半期純利益	527,170	247,277

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	546,847	277,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,045	△51,778
為替換算調整勘定	△64,208	△88,271
退職給付に係る調整額	△88,104	△106,695
その他の包括利益合計	△84,267	△246,744
四半期包括利益	462,580	30,806
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	416,784	28,713
非支配株主に係る四半期包括利益	45,795	2,092

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	668,809	521,455
減価償却費	351,350	371,713
固定資産売却損益(△は益)	△177,639	△63,836
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△82,451	△3,128
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△70,353	△66,264
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,140	24,783
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△10,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,965	72,213
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△130,824	△191,604
投資有価証券評価損益(△は益)	—	8,131
受取利息及び受取配当金	△71,305	△44,600
支払利息	679	868
売上債権の増減額(△は増加)	△14,864	275,783
たな卸資産の増減額(△は増加)	△194,982	△110,427
仕入債務の増減額(△は減少)	226,845	△51,210
未払消費税等の増減額(△は減少)	64,502	43,776
その他	△852,967	△457,839
小計	△255,026	319,813
利息及び配当金の受取額	71,305	44,600
利息の支払額	△679	△868
法人税等の支払額	△51,997	△131,524
法人税等の還付額	27,090	6,628
営業活動によるキャッシュ・フロー	△209,307	238,648
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△860,527	△1,148,415
定期預金の払戻による収入	541,222	899,414
有形固定資産の取得による支出	△222,740	△154,885
有形固定資産の売却による収入	212,600	161,199
無形固定資産の取得による支出	△13,887	△17,710
投資有価証券の取得による支出	△580	△100,624
投資有価証券の償還による収入	200,000	100,000
貸付金の回収による収入	129	818
その他	△2,962	△13,036
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,745	△273,240
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△25,404	△105,785
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,798	△1,696
自己株式の取得による支出	△1,467	△1,451
自己株式の売却による収入	68	68
配当金の支払額	△219,071	△170,859
非支配株主への配当金の支払額	△28,505	△31,985
財務活動によるキャッシュ・フロー	△276,178	△311,710
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61,255	△13,023
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△693,486	△359,325
現金及び現金同等物の期首残高	6,895,283	7,820,139
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,201,796	7,460,814

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 3
	電子部品 (千円) (注) 1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	6,246,755	90,857	6,337,613	—	6,337,613
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,697	177,394	180,091	△180,091	—
計	6,249,452	268,252	6,517,705	△180,091	6,337,613
セグメント利益又は損失(△)	286,096	△36,384	249,712	6,130	255,843

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	2,606,164	3,444,920	195,670	6,246,755	—	6,246,755
地域間の内部売上高 又は振替高	3,464,243	2,626,602	—	6,090,846	△6,088,148	2,697
計	6,070,408	6,071,522	195,670	12,337,601	△6,088,148	6,249,452
地域別利益	125,027	136,796	12,342	274,166	11,930	286,096

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 3
	電子部品 (千円) (注) 1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	7,073,336	68,080	7,141,416	—	7,141,416
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,211	150,273	152,484	△152,484	—
計	7,075,547	218,353	7,293,900	△152,484	7,141,416
セグメント利益又は損失(△)	388,625	△70,947	317,678	2,825	320,503

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	2,605,239	4,255,077	213,019	7,073,336	—	7,073,336
地域間の内部売上高 又は振替高	3,260,839	2,995,589	—	6,256,429	△6,254,218	2,211
計	5,866,079	7,250,666	213,019	13,329,765	△6,254,218	7,075,547
地域別利益	69,321	336,095	12,848	418,265	△29,639	388,625

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

製品別販売実績

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		前年同四半期比 (%)
	金額	構成比	金額	構成比	
電子部品		%		%	
前面操作ブロック (千円)	2,600,847	41.0	3,179,545	44.5	122.3
可変抵抗器 (千円)	1,359,644	21.5	1,349,597	18.9	99.3
固定抵抗器 (千円)	986,150	15.6	1,030,779	14.4	104.5
その他 (千円)	1,300,112	20.5	1,513,414	21.2	116.4
小計 (千円)	6,246,755	98.6	7,073,336	99.0	113.2
その他					
その他 (千円)	90,857	1.4	68,080	1.0	74.9
小計 (千円)	90,857	1.4	68,080	1.0	74.9
合計 (千円)	6,337,613	100.0	7,141,416	100.0	112.7